

# 日本語コースが変わります

2018年4月 第1年次入学生から

## 入試が変わります

学部外国人留学生入学試験（Ⅰ期入試・Ⅱ期入試）および外国人留学生公募制推薦選抜入学試験においては、従来の出願基準に加え、英語を母語とするもの、または、高度な英語能力を持つ場合には、従来基準に満たない日本語能力であっても、一定のレベル（おおむね日本語能力試験 N2 合格程度）以上であれば出願できるようになります。

## カリキュラムがさらに充実します

### 1. 日本語と英語の運用能力の向上を図り、グローバル社会での活躍に備えます。

日本語と英語は、レベルに応じた体系的なカリキュラムで学び、グローバル化する日本社会に対応できる実践的・実用的な外国語運用能力を養います。そのうえで、日本社会で遭遇するかもしれないコミュニケーションの様々な問題に意欲的に対処できる力を身につけます。

### 2. 企業や地域社会等との連携を強化します。

従来行われていた、日本社会を体験する公共施設や地元企業等での実習の他に、企業や地域社会等からの外部講師による、課題解決型のワークショップ形式の授業が必修科目として加わります。また、少人数クラスのメリットを生かし、学内外での課外活動への参加をサポート・フォローアップする体制も整えます。

### 3. 国内学生とともに学ぶ場をさらに増やします。

学部共通科目（Introduction to Global Communication や Seminar Project）に加え、各コースの科目にも留学生と国内学生（日本の高等学校までの教育課程を修了した学生）との共修環境が広がります。また、課外での留学生と国内学生との語学の学び合いを促す「タンデム・パートナー制度」も本格的に運用を開始します。

なお、2018年度の入学試験要項や新カリキュラムの詳細は、順次、本学部ホームページ等で公表します。